

経営比較分析表（令和4年度決算）

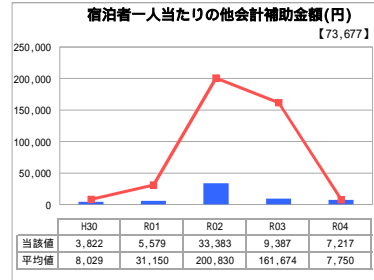
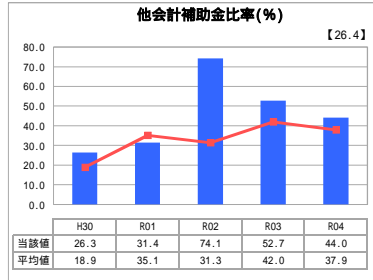
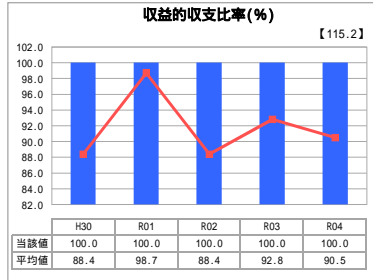
兵庫県佐用町 笹ヶ丘荘

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	957	55	

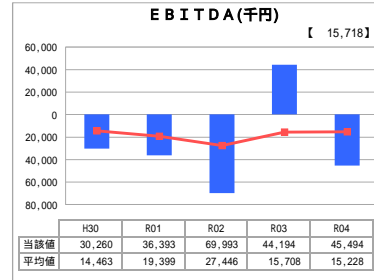
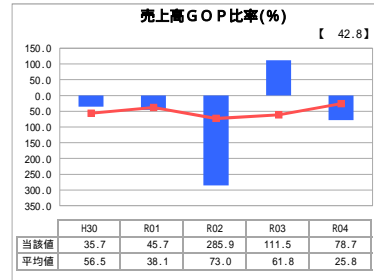
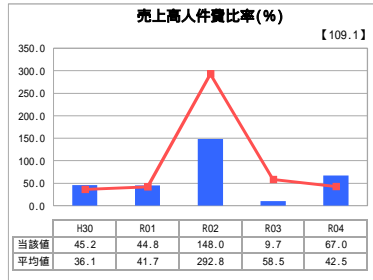
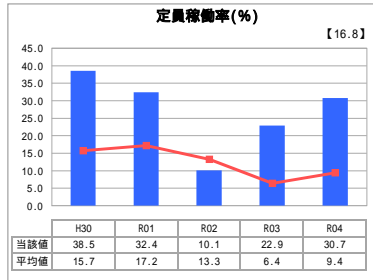
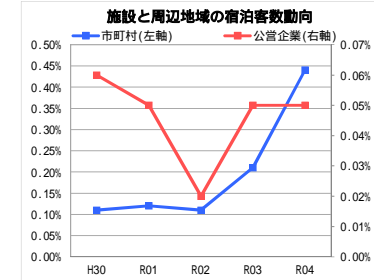
客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
5,986	無	0.0
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例
当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
【】 令和4年度全国平均

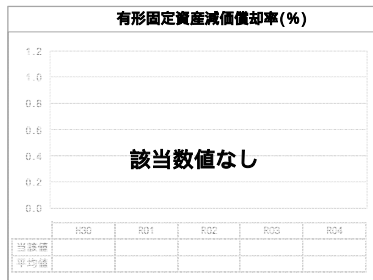
1. 収益等の状況



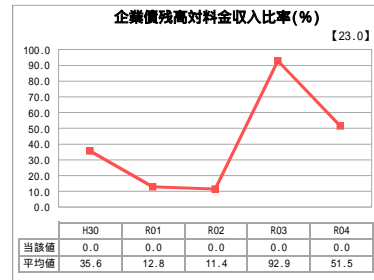
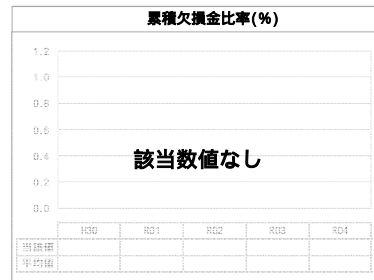
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



施設の資産価値 (千円)	5,017
設備投資見込額 (千円)	424,000



分析欄

1. 収益等の状況について

本施設では、類似施設平均値を上回り、で下回っている。高い稼働率により売上は確保できていたものの、高い人件費率や施設の老朽化による修繕費用の増加に加え、前年度ほどではないが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響による営業収益の減少により収益力を弱めている。今後は更に人員の適正配置を図るとともに、新たな顧客の発掘等による収益増加に向け取り組みたい。本施設は建築から51年、大規模改修から31年が経過しており、毎年修繕費及び設備の更新費が発生していることも収益率改善の障害となっている。

2. 資産等の状況について

本施設は施設の老朽化に伴い、修繕費、更新費ともに増加の傾向となっている。修繕方法や更新物品の選定などを慎重に検討し、コスト削減に努力していく。

3. 利用の状況について

本施設はゴルフ場のホテルと並び、本町の基幹となる宿泊施設である。令和4年度については、収入、利用者数とも前年度と比較して改善傾向にある。これは、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり始めた傾向もあると考えられる。

全体総括

本施設の課題は、老朽化による維持管理経費の削減にあると言える。修繕及び更新については計画的に実施し、コスト削減を図りたい。また、新たな顧客の発掘等による収益増加に向け取り組みたい。